

国際水田・水環境ネットワーク (INWEPF) について
International Network for Water and Ecosystem in Paddy Fields (INWEPF)

宮川賢治、○田尻淳、秋田敦子、堤酉介

Kenji Miyagawa, ○Jun Tajiri, Atsuko Akita, Yusuke Tsutsumi

1. 国際水田・水環境ネットワークの概要

2003年3月、農林水産省は第3回世界水フォーラム(京都)の一環として、国連食糧農業機関(FAO)と共催で、農業に関わる世界各国の大臣が参加する「水と食と農」大臣会議を開催した。同会議では3つの挑戦「食料安全保障と貧困軽減」、「持続可能な水利用」「パートナーシップ」を掲げた大臣勧告が採択された。

この3つのチャレンジの達成に向け、2004年11月、我が国農林水産省が中心となり、アジア・モンスーン地域を中心に水田農業を実施している国¹及び国際機関が参加する「国際水田・水環境ネットワーク(INWEPF)」を創設した。INWEPFは、水田農業に関わる政府関係者等が集まり、知識と経験を共有し、水田農業発展のために国際的な議論を行うフォーラムである。INWEPFの活動は、技術的・政策的な講演を行う「シンポジウム」、活動方針等を決める「運営会議」、各テーマに沿って作業・議論を行うINWEPFの根幹となる「ワーキンググループ(WG)」から構成される。これまで、我が国は、水田農業が有する多面的機能、持続的な水管理及びライフサイクルコストを考慮した施設整備に関する国際的な理解醸成を図るため、WGの活動をリードし、INWEPFとして世界水フォーラム等の国際会議で、情報発信を主導してきた。WGのテーマは、その時の課題に合わせ、幾度か改編されてきており、現在、第5次戦略(2018年～2021年)を実行中であり、図-1に示すように、我が国はWG3のリーダーとして、水利用効率・水生産性の向上を考慮した政策・技術について議論を進めている。

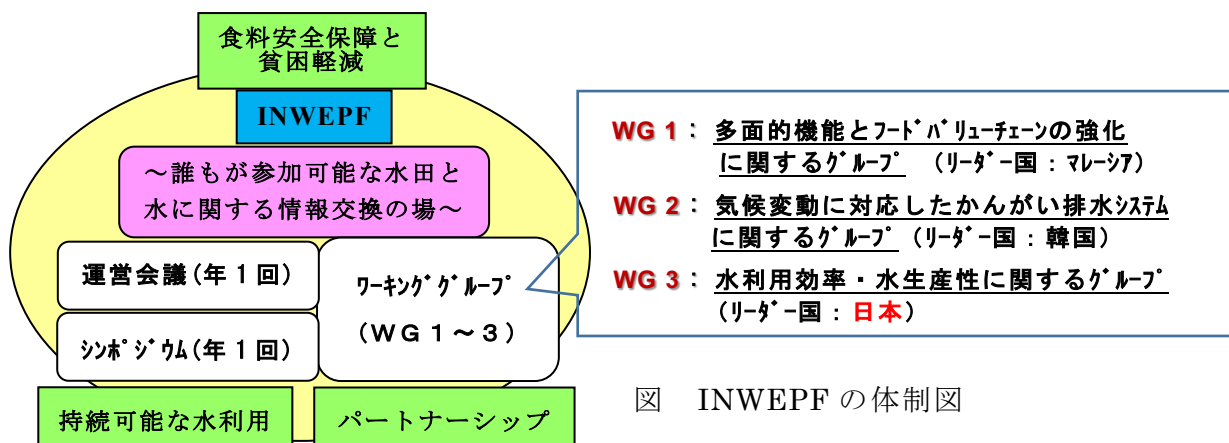


図 INWEPFの体制図

¹ 2020年現在、17ヶ国がINWEPFメンバー国: バングラディシュ、カンボジア、中国、エジプト、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム

農林水産省農村振興局整備部設計課土地改良技術室

Overseas Land Improvement Cooperation Office, Design Division, Rural Development Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

2. 2019 SEOUL INWEPF & PAWEES 国際会議の状況

INWEPF では、毎年 1 回、各国持ち回りでシンポジウム及び運営会議を開催しており、2019 年には、国際水田・水環境工学会 (PAWEES) と合同で、「New, Green and Smart Paradigm of Agricultural Water」のテーマの下、「2019 SEOUL INWEPF & PAWEES 国際会議 (以下、2019 ソウル会議)」が韓国のソウル市において開催された。

2019 ソウル会議では、INWEPF と PAWEES の合同のオープニングセレモニー、INWEPF 及び PAWEES の各セッションに加え、第 16 回 INWEPF 運営会議が行われた。

ここでは、各 WG の活動結果が報告され、今後の活動計画を議論すると共に、第 17 回 (2020 年) をスリランカで、第 18 回 (2021 年) をエジプトで開催することが決定された。

また、第 5 フェーズ戦略のテーマである新たなパートナーシップ強化の取り組みとして、稲作農業を推進するアフリカ 4 か国 (エチオピア、コートジボワール、ザンビア、タンザニア) が我が国の支援により招待された。アフリカ諸国からは、INWEPF への参加はアフリカの稲作推進に大きく貢献するものであり、協力関係を深めていきたい旨の発表が行われた。

最後のクロージングセレモニーにおいて、INWEPF、PAWEES の各議論の総括の後、以下の「2019 Seoul INWEPF-PAWEES ジョイントステートメント」が採択された。

INWEPF

- ・第 5 フェーズのテーマである「パートナーシップ強化と SDG s 達成のための専門的知見の活用」に基づき、稲作農業を推進するアフリカ諸国へ活動を広げる。
- ・メンバー国と国際機関との協力関係を深める。
- ・第 17 回運営会議は、2020 年にスリランカ委員会主催で開催され、その会議において、水田農業の更なる発展に向かって知識と経験を共に共有する。
- ・第 18 回運営会議は 2021 年にエジプト委員会主催で開催される。

PAWEES

- ・国際ジャーナルの編集を含む PAWEES 活動である Paddy and Water Environment (PWE) は、世界の水田農業地域からの専門家だけでなく、国内外の国際組織との協力関係を拡大し、強固なものとする。
- ・国際ジャーナル PWE は、農業科学・工学、環境科学の分野で認められている。メンバーは、PWE の出版のサポートを続け、品質を維持することに同意。
- ・PAWEES 2020 国際会議は、TAES (台湾農業工学会) が主催し、台湾で開催される。この会議の目的は、水田と水環境に関する問題を話し合うことである。

3. INWEPF シンポジウム及び第 17 回運営会議の開催

2020 年については、COVID-19 の今後の世界的な感染状況にもよるが、現時点では、「Efficient Resource Management in Paddy Water Eco-system」のテーマの下、11 月 3 日～5 日に「INWEPF シンポジウム及び第 17 回運営会議」がスリランカにおいて開催される予定である。

スリランカは PAWEES のメンバー国ではないこともあり、残念ながら本会議は PAWEES との合同開催とはならないが、INWEPF としては、引き続き PAWEES と連携し、水田農業の持続的な発展に向けたパートナーシップを深めてまいりたい。